

第4学年1組 社会科学習指導案

日 時 平成24年○月○日

授業者 教諭 市 川 武 史

1 単元名 大単元「わたしたちの埼玉県」

小単元 「埼玉県の様子」(小単元 「まちのよさを生かした人々の暮らし」)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は小学校学習指導要領社会科編第3学年及び第4学年の目標(2)の内容(6)を受けて設定したものである。

目標(2)地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。

内容(6)県(都、道、府)の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県(都、道、府)の特色を考えるようにする。

目標においては、「地域の地理的環境の理解」と「地域社会に対する誇りと愛情を育てること」を大きな柱としている。具体的な内容については以下のようにまとめられる。

	【理解】「地域の地理的環境」	【態度】「地域社会に対する誇りと愛情」
具体的	○「身近な地域や市の様子は場所によって違いがあること」 ○「県の地理的位置や地形の様子」 ○「自然環境を保護・活用している地域が見られること」	○「地域の人々の工夫や努力によって生み出された、特色やよさへの理解に基づいて、、、」

更に、内容(6)の「次のこと」とは、以下のように挙げられている。

ア 我が国における自分たちの県の地理的位置
イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子、主な都市の位置
ウ 県内の特色ある地域の人々の生活
エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

埼玉県は、面積は798.13km²(全国39位)、人口は7,194,556人(全国5位)、関東地方の中央西側の内陸部に位置し、南の東京都はじめ茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、山梨県、長野県の6県と隣接している。

地形は、西部に県内最高峰の三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山地が連なり、東部に行くにしたがって丘陵、台地、低地と次第に低くなっている。林野面積は122,401haで県土の3分の1(32.2%)、一級河川延長は1642.5km(全国25位)で、全て利根川・荒川水系に含まれている。なお、荒川は、甲武信ヶ岳を起点に120近くある支川の水を集めながら、県中央部を西から東へ流れ、熊谷市付近から南へ流路を替え東京湾に注いでいる。流域面積は2,440km²で、県全体の面積の約3分の2を占めている。

産業において、農業生産は平らな土地、穏やかな気候、肥沃な土壌などの恵まれた自然環境と、東京に近いという地理的条件を生かして発展している。産出額(平成22年)は、2,004億円で全国第17位、内訳を見ると野菜1,057億円で第6位、花き167億円で第5位、麦類14億円で第6位など全国でも上位に位置する。特にねぎ、ほうれんそう、さといも、こまつな、ゆり、パンジーは全国1位、ブロッコリー、えだまめは全国2位の産出額であり、消費者に安全で新鮮な農作物を安定供給する重要な役割を果たしている。工業におい

ては、平らな土地、交通網の発達を生かして、県内33もの工業団地がある。自動車部品、電気電子機器など様々な工業品を製造している一方、伝統的な工業も数多く見られる。岩槻人形、加須の鯉のぼり、小川町の和紙などは全国的に有名である。

交通においては、東京への労働力やモノの大量輸送を実現するために鉄道、道路が発展している。高速道路は、関越自動車道、東北自動車道が南北に、東京外環自動車道、首都圏中央連絡自動車道（全開通平成26年度以降目標）が東西に走っている。また、幹線道路も多く整備されており、特に南北を結ぶ道路は充実している。鉄道は、新幹線が東北・秋田・山形新幹線、上越・長野新幹線が通り、大宮駅や熊谷駅が要衝となっている。その他の鉄道に関しても、以下の表のように多くの路線が敷かれている。

JR東日本	東武鉄道	西武鉄道	首都圏 新都市鉄道	埼玉高速 鉄道	秩父鉄道	埼玉新都市 交通	東京地下鉄 (東京メトロ)
宇都宮線 高崎線 湘南新宿ライン 京浜東北線 埼京線 武蔵野線 川越線 八高線	伊勢崎線 野田線 日光線 越生線	新宿線 安比奈線 池袋線 西武秩父線 狭山線 山口線(新交通システム)	つくばエクスプレス	埼玉高速鉄道線 (愛称:彩の国スタジアム線、地下鉄)	秩父本線 三ヶ尻線	伊奈線(愛称:ニューシャトル、新交通システム)	有楽町線 副都心線

人口の分布の特徴は、20万人以上の市がさいたま市、川口市など8市、その全てが東京都に隣接した南東部に集中している。一方人口が1万人未満の町村は7町村で、全てが県の西側の山地部に位置している。人口増加率は、滑川町が20.2%と最も高く、次いで伊奈町が続いている。滑川町は東武東上線「つきのわ駅」の開設に伴う開発が進んだこと、伊奈町では宅地開発が進んだことが挙げられる。人口が増加している市町村の多くは、東京都に隣接している南東部に集中している。

地形、産業、人口、交通網の分布を関連づけると、以下のような様々な特徴が見えてくる。

	地 形	産 業	人 口	交 通 網
地 形	・西側に山地や丘陵が広がり、東側に平地が広がっている。 ・荒川が中央部を西から東に流れ、熊谷市付近から南へ流れている。北側には利根川が東へ流れている。	・農業は西側の山地以外は分布。特に北側の平野に集中している。荒川、利根川等河川に沿って分布。ただし、西部の秩父盆地では農業が分布している。 ・工業も同様の傾向が見られる。	・人口は山地が広がる西部には少なく、平地の広がる東側に分布。特に東京に近い南東に集中している。	・鉄道は県の東側に多く分布、特に東京都へ続く路線が集中している。 ・高速道路も鉄道と同様に南北に走っており、山地の広がる西部には通っていない。
産 業		・農業は全県に広がって作られている。 ・工業は全体的に分布、特に北、北東側に集中している。 ・工業団地が多くある。	・人口が集まっている県の中央部から南東に産業は集まっている。	・高速道路等幹線道路、鉄道に沿って工業が発達している。
人 口			・県の東側、特に南東部に集中している。	・人口が集中している地域では交通網が発達している。
交 通 網				・鉄道は東側半分に集中している。特に東京都に隣接している地域は路線が密になっている。南北に走っている路線が多い。 ・高速道路は、県を南北にまたがる道路が2つ。東西につなぐ線も開設予定。

埼玉県の特徴を整理していくと、一つは東京都の存在が大きく関わっていると言える。労働等のヒトの流れ、流通などのモノの流れから、東京都に向かう経路が充実してきた経緯は埼玉県の大きな特徴と言える。ヒトの流れに合わせて東京都の隣接地域に人口が集中し、そこにモノの流れも加わると鉄道や幹線道路などの交通網が発達していく。また、産業も大きな消費地である東京都に隣接していることを地の利として捉え、大きく発達している。

もう一つ大きな特徴としては、埼玉県の地形である。山地が集まる西側には人口が少なく、土地を利用するにはデメリットが多いが故に産業や交通網は発達していない。他方東側の平地は、荒川等の河川が流れているため取水も可能になっており、農業のための土地開発がしやすく、農業の発展が見られる。工業の発達も同様に地形や交通網と密接な関係を読み取ることができる。

このように東京都に隣接し、かつ東京都との隣接部に平野が多かったことが、人口、産業、交通網が県の南東部に集中している大きな起因になっている。埼玉県は大消費地の東京の労働や経済を支える供給先として大きな役割を果たしていることも、大きな特徴であると言える。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、社会科の授業に大変意欲的に取り組んでいる。1学期は、「火事のと き」、「事故・事けんをふせぐ」、「ごみはどこから」の3単元を学習してきた。「火事のと き」では、火事や消火活動の様子の動画の視聴から、疑問や不思議に思うことを出し合い、児童の言葉から学習問題を設定し、追究した。消防署見学を行い、緊急車両の設備上の工夫や消火活動の際に身につける服などの重さなど、消防士の工夫や努力を五感を活用して学習することができた。続いて「事故・事けんをふせぐ」では、自分たちの生活の安全を守ってくれている警察や地域の人々の働きや努力を、主に紙面資料から調べる学習を行った。1学期最後の単元「ごみはどこから」では、自分たちの生活から出るごみの種類や量を実際に調査したり、市のクリーンセンターに見学に行き、出されたごみがどのようにリサイクルされるのかを調べたりした。ごみの処理にはいろいろな人が関わっていることを学ぶ一方、自分たちもごみ削減のためにできることを考え、実行していくことが大切であることに気づくことができた。なお、児童の経験を豊かにすることをねらいに、各単元のまとめの段階では、今まで学習したことを想起する中で、「新聞」「作文」「ポスター」と様々な表現活動を取り入れた「書く」ことを中心に、自己の主張や意見を練り上げ、思い思いの形で表現することができた。

このように、児童は社会的事象を追究することの面白さに気付き、興味関心をもち学習に取り組めた。また、学習したことを様々な方法で表現し、形に残すことの経験を豊かにしてきた。しかしその一方で、他者と意見を交換したり、異なる意見を比較・統合することで新しい価値観を創造したりする姿はまだ見られていない。また、「書く」活動を中心にまとめてきたが、話したり聞いたりといった、音声言語を活用した表現活動の経験及びそれを支えるコミュニケーションの力の育成が十分図られたとは言えない。授業中での挙手による発表も一部の児童のみで行われ、聞くことのみで授業が進行している児童が見られるため、他者と意見を共有したり、交換したりする学習の面白さや重要さには気付いていない児童もいると思われる。

(3) 研究テーマとのかかわり

研究課題 「児童の主体的な学習を促し、『確かな学力』を育てる学習指導」
B コース「体験的・問題解決的な学習、自主的・自発的な学習を促す指導と評価の在り方」

本単元では、児童の自主的・自発的な学習を促すために、次の3つに重点を置いて実践していくことに

する。

問題解決的な学習の展開

本単元は、児童が県の特徴を知識として獲得していく講義中心の授業展開に陥りやすいと考える。また、県の特徴をテーマごと区切っていくような、例えば今日の学習は地形について、次回は交通網、次は・・・といった形の単位時間が独立した展開にもなりやすい。そこで、単元全体を貫く学習問題を設定し、児童に明確に学習課題を意識づけさせた学習展開を計画したい。

単元の初めに国土の位置や47都道府県の名称と位置をおさえた後、埼玉県に視点を移していく。その際、自分たちがもつ埼玉県の魅力やイメージを話し合わせる。その後、県外の人々は埼玉県をどのようなイメージで見ているのかを読み取らせる。埼玉県ホームページで記載されているイメージは、「1位：東京のベッドタウン」、「2位：さいたまスーパーアリーナ」、「3位：彩の国」、「4位：サッカー」といった項目が並ぶ中、「ぱっとしない」「海がない」などマイナスなイメージの回答も見られる。この回答の結果をもとに児童に対して、埼玉県の魅力はないのか、そしてその魅力を発信できないかという発問を基に、学習課題「私たちの埼玉県の魅力やすばらしさを発信しよう」を設定することにする。

魅力や素晴らしさを発信する前段階として、埼玉県の特徴を各関連資料より調べさせる活動を行うのが本単元である。次の小単元「まちのよさを生かした人々のくらし」では、県内の特色ある地域として「秩父市」「川越市」「岩槻（さいたま市）」を事例として取り上げ、県に対する愛情や誇りの基礎を育んでいきたい。

複数の資料を読み取り関連づけて考える力の育成

学習指導要領の改訂の柱として、「思考力・判断力・表現力の育成」が大きく掲げられている。また社会科においても、地図や統計などの各種の資料から必要な情報を集めて読み取ることが基本方針として挙げられている。第4学年のこの時期は、地図帳が配布され、地図を活用する技能を身に付ける初期の段階として重要な時期である。5年生の国土や産業の学習で膨大な地図資料や統計資料を読み取らせることを考えても、4年生から段階的、計画的に資料を読み取らせ、必要な情報を得る力を育成することは重要であると考え。そして、資料を読み取る段階から発展して、複数の資料を関連づけて新たな事実や情報を得る力を身につけさせたい。地形、産業分布、人口分布、交通網の広がり、情報が色やマーク等で記入された地図を活用するため児童も特徴をつかみやすいと思われる。一つの資料から分かることをたくさん出し合う活動を通して、資料を注意深く読むことの大切さや資料には多くの事実や情報を含んでいることなどに気付かせたい。また、友達の意見を聞くことで資料の読み方を学ばせるとともに、新たな視点に気づく機会としたい。

本実践では、1つの資料を注意深く読み取らせる段階から発展して、複数の資料を比較させたり統合させたりしながら、新たな事実や情報を獲得させる力につなげていきたい。埼玉県の特徴は、各視点が独立して存在しているわけではなく、特徴の原因や背景が他の視点に関連して成り立っていることは上記した通りである。例えば、人口は東京都に隣接している南東部に集中し、交通網も人口の分布に合わせて発達している。このように、資料から読み取った事実と事実を関連づけて統合したりして、その因果関係を導きだす思考力を育てていきたい。そのための手立てとして、OHPシートに埼玉県の白地図をプリントし、1トピック1シートに特徴をまとめていく。そうしてでき上がった複数のシートを重ね合わせて分かることや気づいたことを出し合う活動を設定する。その際、個人、少人数、全体と考える形態の規模を拡張させ、様々な資料の読み取り方や見方を身に付けさせるようにしていきたい。

音声言語を中心とした表現活動の設定

児童の実態の中で、本学級の児童は1学期、新聞作り、作文、ポスター作りと「書く」活動を中心としたまとめの学習を行ってきたと書いた。その中で、学んで分かったことやそこから考えたことを自分の言

葉で的確にかつ分かりやすくまとめることができた。そこで、本実践では事実や意見を音声言語で他者に伝える表現活動を設定したい。

書く活動は、児童の思考の過程や意見の創造を評価することはできるが、一方文章構成力や語彙力、描画力に左右される活動でもある。そのため、児童の中では社会的事象について深く考えたり自分の意見を明確に構築したりしていても、それを正しく表出できない児童もいるだろう。そういった児童を、表現した作品を見て思考力・判断力が乏しいと評価するのは教育における公正さに欠けると思われる。様々な形態の表現活動を設定することで、児童の思考力・判断力といった容易には目に見えない力を正しく評価し、次の指導につなげていけると考える。

また、話す、聞く活動は、コミュニケーションの土台となる重要な力である。児童は将来社会形成を担っていく大きな役割をもった未来の一市民である。社会の一員として、コミュニティーに受動的に「参加」する市民から、自主的、主体的にかかわる「参画」する市民を育成するために、他者と音声言語を通して意思疎通や合意形成を図れる能力は必須であると言える。話すことで自分の意見や主張を他者に伝える重要性や達成感を味わわせるとともに、他者の話を聞く有用性を十分に感じ取らせたい。そこで本単元の最後には、複数資料から見える埼玉県の特徴をグループや全体で交流し合う活動を設定する。そして交流し終わった後、感想や意見をノートに記述し、再び他者に伝える活動を設定し、音声言語の活用を十分図る学習を展開していきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- 埼玉県の地形や産業、県内の特色ある地域の様子に関心をもち、それらを意欲的に調べ、県の特色を考えようとしている。【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 埼玉県の地形や産業、交通網や外国とのかかわり、県内の特色ある地域の人々の生活などから、埼玉県の特色を考え、それを表現することができる。【社会的な思考・判断・表現】
- 埼玉県の地形や産業、県内の特色ある地域の様子などの様子について、地図帳や資料を活用したり白地図にまとめたりしている。【観察・資料活用の技能】
- 日本における埼玉県の位置や県内における自分たちの市の位置、県全体の地形や主な産業、交通網や外国とのかかわり、特色ある地域の人々の生活を理解している。【社会的事象についての知識・理解】

(2) 単元の評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・ 資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
単元 の 評 価 規 準	国土及び都道府県の名称や位置、埼玉県の様子や特徴に関心をもち、意欲的に調べ、地域社会に誇りと愛情をもっている。	埼玉県の地形や産業、交通網、人口分布などを関連付けて県の特徴を考え、言語を活用して分かりやすい形で表現している。	4 7 都道府県の位置や埼玉県の地形、産業、交通網、人口分布、特色ある地域の生活の様子などを、地図や統計資料等を活用したり白地図にまとめたりしている。	日本における埼玉県の位置や県内における自分たちの市の位置、県全体の地形や主な産業、交通網並びに特色ある地域の人々の生活を理解している。

4 単元の指導計画と評価計画（１１時間扱い）

過程	学習活動・学習内容 ○：時 数	学習活動に即した評価規準 評価方法
つかむ	日本の中の埼玉県的位置、４７都道府県の名称と位置を調べる。 ・国土は南北に細長く、主に４つの島からなる ・海に囲まれている ・４７都道府県の名称、位置 ・埼玉県は本州のほぼ中央 ・１つの都と６つの県で囲まれている ・方位を用いた位置の表し方 県外の人から答える埼玉県のイメージの資料を見て、思ったことを出し合う。	関 地図から読み取れることに興味をもち、国土の特徴、４７都道府県の位置や名称を進んで調べている。 発言・行動 技 地図を使って国土の特徴、都道府県の名称や位置を調べている。 行動観察・白地図 思 埼玉県の様子に関心をもち、学習問題や予想、学習計画を考えている。 ノート記述
調べる	学習問題 「私たちの埼玉県のみ力やすばらしさを発信しよう」 埼玉県の地形を調べる。 ・西側に山地、東側には平地が広がっている ・県の西から中央、そして南へと荒川が流れている。また、北側には利根川も流れている 【本時】 埼玉県の農業、工業の様子を調べる。 ・ほうれんそうなどは全国１位の生産量 ・多くの工業団地がある ・昔から行われている伝統工業もさかん 人口分布の特色を調べる。 ・人口は県の東側、特に東京都に隣接している地域に集中している ・人口は東京都に隣接している地域が増加し、西側は減少している 埼玉県の交通の様子を調べる。 ・県の東側に高速道路が走っている ・鉄道は県の南東に集中している ・鉄道も道路も南北に走っているものが多い	技 立体地図模型から土地の高低差や川の流れなど県全体の土地の様子を読み取っている。 発言、ノート 知 県内の山地や低地などの位置や広がりなど、県の地形の特徴が分かっている。 発言、ノート 技 地図や統計資料から、埼玉県ではどんな農作物や工業製品がつくられているか調べている。 発言、ワーク 技 人口分布の資料から読み取った情報を白地図にまとめ、分布の特徴を調べている。 発言、ワーク 関 埼玉県の交通の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 観察、ワーク 技 県内の交通網や主な都市の位置を調べて、白地図に表している。 観察、ワーク
まとめる	今まで調べて分かったことを関係付けて埼玉県の特徴をまとめる。	技 地形、人口分布、産業の分布、交通網の特徴を重ね、共通点や違いを見つけることができる。 観察 思 地形、人口、産業 交通網の分布を比較して共通点や違いに気づいたことから県の特徴を考えている。 発言、観察、ノート

5 本時の学習（6 / 11 時）

（1）本時の目標

- 地図や統計資料から、埼玉県ではどんな農作物がつくられているか調べることができる。【観察・資料活用の技能】

（2）本時の展開

学習活動・学習内容	評価と指導の工夫	時間
1 小松菜の実物を見せ、以下の発問を考える。 ・何の野菜か ・見たことはあるか ・埼玉県ではどのくらい作っていると思うか	○あまり考える時間は取らず、テンポよく進める。 ○野菜に興味を持たせ、本時のめあてへの意欲化を図る。	7
2 本時の学習課題を知る。 埼玉県では、どのような農作物を作っているか調べよう。		2
3 「農作物」「産地」という言葉の意味を知り、ノートに記述する。 ・「農作物」：農家の人が作る物（米、野菜、果物、花など） ・「産地」：農作物などが主に作られている地域	○全員が記述しているか机間指導を行い、確認する。 ○板書の際、チョークの色を変えて、重要な語句であることを児童に伝える。	5
4 副読本を使い、埼玉県ではどんな農作物が作られているかを調べる。 ・草加市：小松菜、枝豆 ・埼玉県全国1位：小松菜、ユリ 2位：花、カブ、ネギ、ホウレンソウ ・県の北、南、東に産地が集まっているが、西は少ない。 ・低地に産地が多く、山地には少ない。山や森林が多いため田畑が作れないため。	○副読本の資料が様々な情報が盛り込まれている内容なため、発問及び指示をしながら調べる視点を持たせたい。 【発問】 「草加市では何が作られている？」 「全国の順位に注目しよう」 「産地の集まりの様子を方位を使って表そう」 ○児童の視点が地形に移ったと思われる場合は、立体地図を提示し、照らし合わせよう指示し、気づきを引き出す。 技 地図や統計資料から、埼玉県ではどんな農作物がつくられているか調べている。（観察、ノート記述）	13
5 全体でまとめる	○マジックは点で落とすだけと指示する。	5
6 農作物の分布地図と透明シートを重ね、マジックで写し取る。	指示が伝わっていないと思われる際は、教師が示範を行う。	8
7 学習を振り返り、分かったことや考えたことをまとめる。	○時間があれば、2、3人の意見を取り上げる。	5

5 本時の学習（10 / 11時）

（1）本時の目標

- 地形、人口分布、産業の分布、交通網の特徴を重ね、共通点や違いを見つけることができる。【観察・資料活用の技能】
- 白地図を重ねる作業で見つけた共通点や違いから、それぞれの因果関係を考え、埼玉県の特徴をまとめ、分かりやすく表現している。【社会的な思考・判断・表現】

（2）本時の展開

学習活動・学習内容	評価と指導の工夫	時間
1 黒板に掲示した今までの作った白地図を見て、既習内容を振り返る。 ・地形の特色 ・農作物、工業の分布 ・人口の分布 ・交通網の広がり	○それぞれの特徴を言わせ、今までの学習を想起させる。 ○白地図は、児童の作品で見栄えがよいものを拡大して提示する。	7
2 本時の学習課題を知る。 今まで作った地図を重ねて、埼玉県の特ちょうを考えよう。		2
3 地図を重ね、共通点や違いを見つけ、分かったことや考えたことをノートに記述する。 ・人口は平野で、東京に近い地域に集まっている。 ・交通は、山地は少なく、平野にたくさん集まっている。 ・高速道路は、県の西側の人口が集まっているところに集中している。 ・山地の部分には田畑を作ったり家を建てたりしづらいから少なく、平地に集まっていると思う。	技 地形、人口分布、産業の分布、交通網の特徴を重ね、共通点や違いを見つけることができる。 観察、ワーク ○記述が進まない児童には、2つの資料を重ねさせ、似ている所から調べるよう声かけをする。 ○2枚以上重ね、特徴をまとめている児童は賞賛し、全体に広めていく。 ○活動が終わった児童には、なぜそう言えるのか根拠や理由を問い、考えさせる声かけをしていく。 ○3～4人グループでどんな考えを書いたかを順番に発表させ、同じ意見や異なる意見を整理する。 ○代表者にグループとしての考えをまとめ、発表することを初めに告知しておく。	15
4 ノートに記述したことをもとに、グループで考えを交流し合う。		8
5 全体で発表する。		8
6 他のグループの発表を聞いて、感想や疑問をノートに記述し、発表する。	○全体で確認する必要がある意見の場合は、拡大投影機でスクリーンに重ねた地図を映し出して全体で確認する。 思 地形、人口、産業 交通網の分布を比較して共通点や違いに気づいたことから県の特徴を考えている。 発言、観察、ノート	5